



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社インターネットインフィニティー 上場取引所 東
 コード番号 6545 URL https://iif.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 別宮圭一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 星野健治 (TEL) 03-6897-4777
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,282	7.0	116	—	122	—	68	—
2024年3月期第1四半期	1,199	13.9	3	△90.8	9	△81.0	0	△96.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 68百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 0百万円(△96.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	12.96	12.64
2024年3月期第1四半期	0.18	0.18

- (注) 1. 2024年3月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。
 2. 2025年3月期第1四半期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,757	1,404	37.4
2024年3月期	3,751	1,388	37.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 1,404百万円 2024年3月期 1,388百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,102	2.9	355	54.5	350	29.2	204	56.6	38.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第1四半期連結累計期間における自己株式の取得による影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	5,427,771株	2024年3月期	5,427,771株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	124,860株	2024年3月期	123,743株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	5,302,911株	2024年3月期1Q	5,339,320株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が着実に進み、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加が見られるなど、穏やかな回復基調で推移したものの、長期化するウクライナ情勢をはじめとする地政学リスクの高まり、資源価格や原材料価格の高騰による物価上昇、為替相場の変動による影響もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関わる高齢社会に関連する市場におきましては、ウィズコロナ社会における「新しい生活様式」が高齢者にも浸透しており、外出意欲の高まりや社会経済活動の正常化に伴い、健康への関心がより高まってきております。加えて、中長期的には今後も高齢化率の上昇基調が続くことから、引き続きヘルスケアサービスの需要は高まっていくものと予想されます。

また、介護業界では人材不足が深刻化しており、人材の確保や業務負担の軽減、職場環境の改善が重要な経営課題として認識されております。介護保険制度の見直しは3年に一度行われており、2024年4月の介護報酬改定では介護保険制度を将来にわたり安定的に持続させるため、介護人材の確保に向けて介護職員等処遇改善加算の加算率が引き上げられるとともに、介護現場の生産性向上に向けてICT等のテクノロジーの活用を推進する生産性向上推進体制加算が新設されるなど、全体では1.59%のプラス改定となりました。

このような環境の中、当社グループは「健康な未来」というコーポレートスローガンのもと、「創意革新と挑戦による超高齢社会における課題解決」をミッションと位置づけ、2023年6月に公表した「事業計画及び成長可能性に関する事項」で示した「IIF Vision2030」や経営目標の達成に向けた取組みを実行し、持続的な成長と中期的な企業価値向上の実現に向けた動きを加速してまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、各セグメントにおいて売上高が順調に増加したことに加え、前連結会計年度の下期に行った本社移転に伴い賃料等の固定費が削減された結果、営業利益以下の段階利益についても大きく増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,282,442千円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益は116,453千円（前年同四半期比2,982.1%増）、経常利益は122,764千円（前年同四半期比1,223.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68,737千円（前年同四半期比6,990.8%増）となりました。

なお、前第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

(ヘルスケアソリューション事業)

レコードブック事業におきましては、当連結会計年度の期首に同事業の会社分割を実施し、連結子会社の株式会社レコードブックにおいて事業を進めております。

当第1四半期連結累計期間において短時間リハビリ型通所介護サービス(デイサービス)「レコードブック」のフランチャイズが3ヵ所増加しております。また、フランチャイズ加盟店1ヵ所を譲受けた結果、直営店が25ヵ所、フランチャイズが181ヵ所となりました。

そのほか、名古屋鉄道株式会社との合弁会社である株式会社名鉄ライフサポートが愛知県を中心に展開する「名鉄レコードブック」は、当第1四半期連結会計期間末において21ヵ所となっております。

これにより、「レコードブック・ブランド」の店舗が合計で227店舗(前年同四半期末は224店舗)となりました。

これらのフランチャイズの店舗数増加に加え、高齢者に運動習慣の重要性への理解が浸透したことにより、レコードブックの既存店舗の稼働率については上昇傾向で推移しており、直営店舗一店舗当たりの売上高や加盟店からのロイヤルティ等の収入は前年同四半期と比べ増加いたしました。

一方、当第1四半期連結累計期間におけるフランチャイズの新規出店に伴う加盟金等による収入は前年同四半期と比べやや減少いたしました。また、当社が設備投資を行い、フランチャイズ加盟店にレンタルをするプランから、当初契約期間5年間の満了に伴いプランを変更した店舗が増加したため、これまで当社が負担していた地代家賃・減価償却費等の原価と同額の売上高がともに減少いたしました。

この結果、レコードブック事業全体では前年同四半期と比べて売上高はやや減少した一方、営業利益は大きく増加いたしました。

アクティブライフ事業におきましては、連結子会社の株式会社フルケア及び株式会社カンケイ舎が営む福祉用具貸与事業が堅調に推移いたしました。また、株式会社正光技建において営業手法の見直しや営業先の拡大を進めるとともに、社内の組織体制や、仕入先の見直しによる原価率改善等の各種施策を推進しております。

この結果、前年同四半期と比べて売上高及び営業利益は増加いたしました。

Webソリューション事業におきましては、前連結会計年度から引き続き営業活動の更なる推進やコンテンツ拡充を進めており、当第1四半期連結累計期間においても複数案件の新規受注を獲得いたしました。

この結果、前年同四半期と比べて売上高及び営業利益はやや増加いたしました。

これらの結果、売上高は872,586千円(前年同四半期比6.6%増)、営業利益は136,392千円(前年同四半期比120.0%増)となりました。

(在宅サービス事業)

在宅サービス事業におきましては、連結子会社のカンケイ舎において介護人材の確保を目的に人事制度改革を推進した結果、有資格者の確保が進み各事業においてサービス提供回数等が増加しております。また、2024年6月には新たに船橋市に訪問介護事業所を開設しております。

この結果、売上高は409,855千円(前年同四半期比7.7%増)、営業利益は103,090千円(前年同四半期比19.8%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,664,988千円となり、前連結会計年度末に比べ61,764千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が86,735千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が15,301千円減少したことによるものです。

固定資産は1,092,490千円となり、前連結会計年度末に比べ55,782千円減少いたしました。その主な要因は、有形固定資産が6,382千円、無形固定資産が30,988千円、投資その他の資産が18,410千円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は3,757,478千円となり、前連結会計年度末に比べ5,982千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,077,921千円となり、前連結会計年度末に比べ3,136千円減少いたしました。その主な要因は、賞与引当金が54,010千円、未払法人税等が34,117千円、流動負債その他が28,096千円減少した一方で、短期借入金が100,000千円増加したことによるものです。

固定負債は275,445千円となり、前連結会計年度末に比べ6,638千円減少いたしました。その主な要因は、長期借入金が7,860千円減少したことによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,353,366千円となり、前連結会計年度末に比べ9,775千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,404,111千円となり、前連結会計年度末に比べ15,757千円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金が15,744千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月15日付「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。業績予想値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,563,768	1,650,504
受取手形及び売掛金	898,515	883,214
貯蔵品	16,200	15,840
その他	129,767	116,554
貸倒引当金	△5,029	△1,125
流動資産合計	2,603,223	2,664,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	189,218	184,950
その他(純額)	54,013	51,899
有形固定資産合計	243,232	236,849
無形固定資産		
のれん	336,284	314,530
その他	226,852	217,617
無形固定資産合計	563,137	532,148
投資その他の資産		
差入保証金	145,401	145,766
繰延税金資産	182,803	168,401
その他	13,697	10,610
貸倒引当金	-	△1,285
投資その他の資産合計	341,902	323,492
固定資産合計	1,148,272	1,092,490
資産合計	3,751,495	3,757,478
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,174	88,188
短期借入金	650,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	120,727	98,737
未払法人税等	90,854	56,736
預り金	541,782	566,898
賞与引当金	100,049	46,038
役員賞与引当金	3,051	-
その他	499,418	471,321
流動負債合計	2,081,058	2,077,921
固定負債		
長期借入金	168,189	160,329
資産除去債務	67,878	68,663
その他	46,015	46,452
固定負債合計	282,083	275,445
負債合計	2,363,142	2,353,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	252,302	252,302
資本剰余金	239,822	239,822
利益剰余金	952,339	968,084
自己株式	△56,130	△56,130
株主資本合計	1,388,334	1,404,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	33
その他の包括利益累計額合計	19	33
純資産合計	1,388,353	1,404,111
負債純資産合計	3,751,495	3,757,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,199,038	1,282,442
売上原価	779,884	766,095
売上総利益	419,153	516,346
販売費及び一般管理費	415,375	399,893
営業利益	3,778	116,453
営業外収益		
事業譲渡益	9,171	10,399
その他	2,034	1,676
営業外収益合計	11,206	12,076
営業外費用		
支払利息	4,347	5,665
その他	1,363	100
営業外費用合計	5,711	5,765
経常利益	9,273	122,764
税金等調整前四半期純利益	9,273	122,764
法人税等	8,303	54,026
四半期純利益	969	68,737
親会社株主に帰属する四半期純利益	969	68,737

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	969	68,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	13
その他の包括利益合計	15	13
四半期包括利益	985	68,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	985	68,750

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ヘルスケアソリ ューション事業	在宅サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	818,630	380,408	1,199,038	—	1,199,038
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	818,630	380,408	1,199,038	—	1,199,038
セグメント利益	61,999	86,023	148,023	△144,244	3,778

- (注) 1. セグメント利益の「調整額」△144,244千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 前第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ヘルスケアソリ ューション事業	在宅サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	872,586	409,855	1,282,442	—	1,282,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	872,586	409,855	1,282,442	—	1,282,442
セグメント利益	136,392	103,090	239,483	△123,030	116,453

- (注) 1. セグメント利益の「調整額」△123,030千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	51,644千円	26,219千円
のれんの償却額	10,820千円	11,515千円